## 令和6年度 シラバス

		14 11		. • // //				
	農業	学科•	学年	生産科学科	第2学年	単位数	2 単位	
教科		教 科	書	作物(実教出版	)			
科目	作物	副教	材	なし				
科目の目標		音方法を身に付ける。 量と栽培環境について理解する。						
評価の観点 知識・技術【知】			思考・判断・表現【思】 主体的に学習に取り組む態度【主】					
趣旨	栽培などの学習を選 基本的なことがらにつ しく理解し、知識を身 て、理解している。	こついて正 も と身につけ こ に に		や学習したことだして、総合的にまいできる。 さや調査したことを、分析したり、記 できる。 できる。 であるともで、分析したり、記して、科学的でもの。	考える 心る る。 ともと 問 論理的 に意	問題点を提起したり,学習 に意欲的に取り組んだりす		

学	237 H 45	公司(大利 - 公司のわさ) 、	評価		観点	□ / IT + H 沙佐	₹# <b>.</b>
学期	学習内容	学習活動・学習のねらい	知	思	主	評価規準	評価方法
	f	○作物が自分たちの食生活と				・作物が私たちの生活にどのよう	テスト
	生産の役割と	密接に関わっていることを		$\circ$		に関わっているか、その動向に関	
	動向	理解させる。				する知識を身に付けている。	
_		○作物の生い立ちと品種改良				・仲間たちと協力して、主体的に	小テスト
		の重要性を理解させる。				学習できている。	
学		○作物の食品的価値と我が国				・「プロジェクト学習」という学	実習記録
期		の利用方法について理解さ		0	$\circ$	び方について、その内容と進め方	
		せる。	ļ			発展のさせ方を理解している。	
		○世界と我が国の作物生産の	( )			・世界と日本の作物について理解	i
		現状、輸出入と食糧需給の				している。	ノート
		動向について理解させる。	ļ				_
	1	○栽培方法や利用目的に応じ				・栽培方法や利用目的に応じた分	テスト
	特徴と栽培技術		ļ			類などについて理解している。	,
		反応、生育期間などによる					小テスト
		分類について理解させる。 ○発芽から成熟まで、作物の		0	$\circ$	け、生育過程と生理的特徴を理解	₩ 777 <del></del> 7-7
		一生を各生育時期に分け、	ļ			している。	実習記録
学		各器官の生育過程と生理的				・育苗管理に必要な知識と技術を	1 = - 1
•		特徴を理解させる。			0	日付している。また、然先不行と	小テスト
期		○実際の育苗を通して、育苗	ļ			理解している。	
		管理に必要な知識と技術を	_			・統計資料などから情報の持つ意	テスト
		習得させ、発芽の特性、育	0		$\circ$	味を読み取ることができる。	ノート
		苗の様式と環境条件につい				・統計資料を記録・整理できる。	
		て理解させる。					
	3章 イネ	○塩水選、育苗、移植、水管				・基本的な、栽培技術を身に付け	テスト
		理、追肥、雑草防除、病害虫 予防管理等の目的と方法を理		$\circ$	$\bigcirc$	ることができる。	
=		ITM官理寺の日的と方伝を理 解させ、自ら判断し実施でき					
		るようにする。				・成長をさまたげる雑草・害虫・	プレゼン発表
学		○生育状況を調査し、生育時	$\bigcirc$	$\circ$		病気などを防ぐ方法を理解してい	小テスト
期		期ごとの変化や特徴をとら	<u> </u>			る。	
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		え、気象条件や生育状況に応 じた適切な栽培管理が行える				・作物の成長と管理作業の目的を	レポート
		ようにする。	$\bigcirc$		$\bigcirc$	結びつけて理解している。	
			<u> </u>				